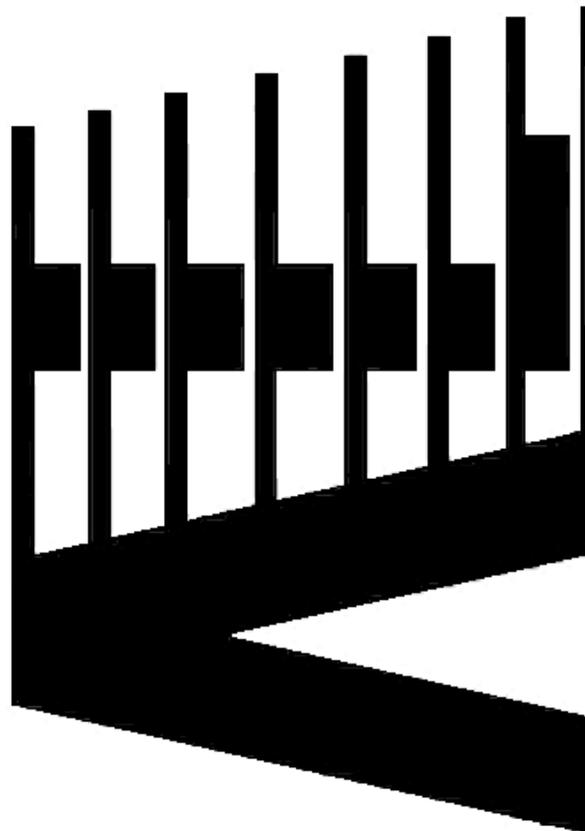
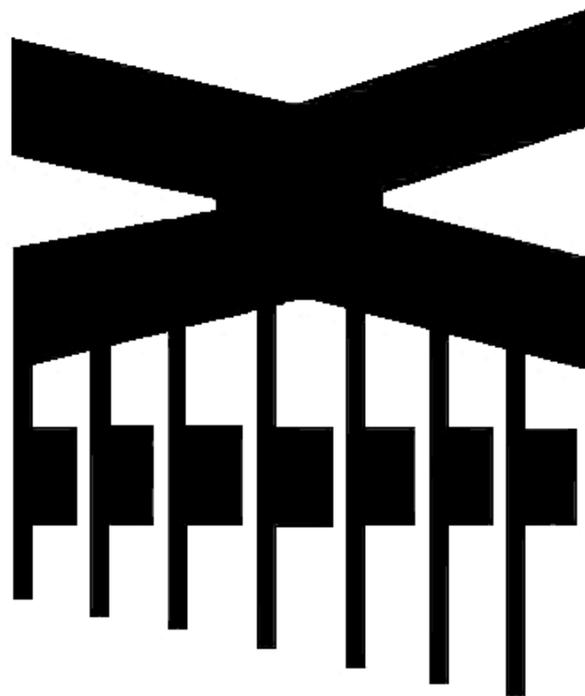


“アルビクス” VA ERROR DETECTION UNIT VAD-230HD

取扱説明書

Ver. 1.0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

注意事項	2
1．主な機能と特長	3
2．仕様	4
3．各部の名称と機能	5
4．接続方法	11
5．映像比較位置・サイズ調整	12
6．IPアドレスの設定	19

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい(安全にお使いいただくために)

警告

内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
(火災や感電、故障の原因となります。)

煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
(感電やショート、火災の原因となります。)

電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
(電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。)

電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
(感電やショート、火災の原因となります。)

仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
(火災や感電の原因となります。)

お願い

風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
(故障の原因となります。)

次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
(故障の原因となります。)

1 . 主な機能と特長

1 . 1 V A D - 2 3 0 H Dの特長

素材側（原信号）とダビング側（対象信号）を比較し、映像・音声のエラーを検出し、エラー内容を正面 VFD / LED と S N M P エージェントにより外部へ通知します。

素材側ビデオ信号を遅延させ、ダビング側ビデオ信号と同期させます。

素材側ビデオ信号とダビング側ビデオ信号を同期させることで、両ビデオ信号の比較を行います。

素材側音声信号とダビング側音声信号を同期させ、両音声信号の相関性を計測することで、音声の比較を行います。

素材側ビデオ信号に重畳された局間情報（ARIB STD-B39 形式）内の画角 / 音声モード情報を読み取ることで、映像 / 音声信号の比較を常に最適な状態で行います。

両信号は同期した形で個別にアナログ V B S 信号で出力され、目視による画像比較も可能です。

映像は単画面の他、ウィンドウのある分割画面監視も可能です。

2 . 仕様

SDI #1 (素材側)映像・音声入力信号

入力信号数 : 1 系統
 信号形式 : 映像 : HD-SDI (SMPTE292M、1080i)
 SD-SDI (SMPTE259M-C、480i[D1])
 : 音声 : エンベデッドオーディオ
 48KHz 16bit 8ch (HD-SDI)
 48KHz 16bit 4ch/8ch (SD-SDI)
 入力接栓 : BNCコネクタ

SDI #2 (ダビング側)映像・音声入力信号

入力信号数 : 1 系統
 信号形式 : 映像 : HD-SDI (SMPTE292M、1080i)
 SD-SDI (SMPTE259M-C、480i[D1])
 : 音声 : エンベデッドオーディオ
 48KHz 16bit 8ch (HD-SDI)
 48KHz 16bit 4ch/8ch (SD-SDI)
 入力接栓 : BNCコネクタ

映像モニタ出力信号

出力信号数 : 素材側ディレイ・ダビング側 各1系統
 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 出力接栓 : BNCコネクタ

映像調整用比較映像モニタ出力信号

出力信号数 : 3 系統
 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 出力接栓 : BNCコネクタ

音声モニタ出力信号

出力信号数 : 2系統×2 (素材側ディレイ・ダビング側、各4ch
 〔主音L/R、副音L/R〕)
 信号形式 : アナログ アンバランスステレオ4ch
 出力接栓 : RCAピンジャック

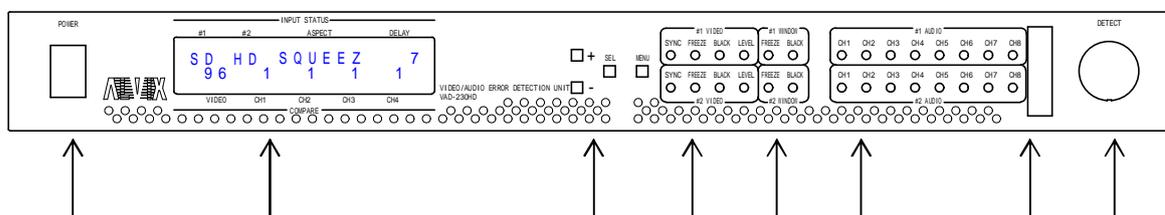
外部通知

通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 プロトコル : SNMP V2
 コネクタ : RJ-45モジュラ

外形寸法 : W430 × H44 × D470 mm
 質量 : 約 8 kg
 電源電圧 : 100V±10% AC 50/60Hz
 消費電力 : 約 50 W
 使用温度 : 5 ~ 40

3 . 各部の名称と機能

3 . 1 . フロントパネルの機能



1 . POWER

- ・電源スイッチです。

2 . VFD

- ・状態表示 / 調整用 VFD ディスプレイです。

3 . + / - / SEL / MENU ボタン

- ・調整用ボタン SW です。

4 . VIDEO ERROR LED表示 (BASE)

- ・SDI #1 VIDEO
 - SYNC SDI #1 入力に同期断を検出した時に点灯します。
 - FREEZE SDI #1 入力BASEでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI #1 入力BASEで黒味を検出した時に点灯します。
 - LEVEL SDI #1 入力BASEでレベル異常を検出した時に点灯します。
- ・SDI #2 VIDEO
 - SYNC SDI #2 入力に同期断を検出した時に点灯します。
 - FREEZE SDI #2 入力BASEでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI #2 入力BASEで黒味を検出した時に点灯します。
 - LEVEL SDI #2 入力BASEでレベル異常を検出した時に点灯します。

5 . VIDEO ERROR LED表示 (WINDOW)

- ・SDI #1 WINDOW
 - FREEZE SDI #1 入力WINDOWでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI #1 入力WINDOWで黒味を検出した時に点灯します。
- ・SDI #2 WINDOW
 - FREEZE SDI #2 入力WINDOWでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI #2 入力WINDOWで黒味を検出した時に点灯します。

6 . A U D I O E R R O R L E D表示

・ S D I # 1 A U D I O

CH1	SDI#1 AUDIO CH1 で無音を検出した時に点灯します。
CH2	SDI#1 AUDIO CH2 で無音を検出した時に点灯します。
CH3	SDI#1 AUDIO CH3 で無音を検出した時に点灯します。
CH4	SDI#1 AUDIO CH4 で無音を検出した時に点灯します。
CH5	SDI#1 AUDIO CH5 で無音を検出した時に点灯します。
CH6	SDI#1 AUDIO CH6 で無音を検出した時に点灯します。
CH7	SDI#1 AUDIO CH7 で無音を検出した時に点灯します。
CH8	SDI#1 AUDIO CH8 で無音を検出した時に点灯します。

・ S D I # 2 A U D I O

CH1	SDI#2 AUDIO CH1 で無音を検出した時に点灯します。
CH2	SDI#2 AUDIO CH2 で無音を検出した時に点灯します。
CH3	SDI#2 AUDIO CH3 で無音を検出した時に点灯します。
CH4	SDI#2 AUDIO CH4 で無音を検出した時に点灯します。
CH5	SDI#2 AUDIO CH5 で無音を検出した時に点灯します。
CH6	SDI#2 AUDIO CH6 で無音を検出した時に点灯します。
CH7	SDI#2 AUDIO CH7 で無音を検出した時に点灯します。
CH8	SDI#2 AUDIO CH8 で無音を検出した時に点灯します。

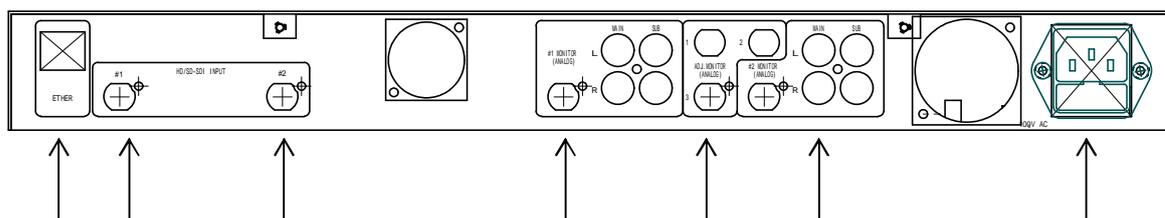
7 . メンテナンスコネクタ

- ・通常は使用しません。カバーを外さないで下さい。

8 . D E T E C Tボタン

- ・監視ソフトウェアの検知開始 / 停止ボタンです。
- ・ボタンを押すと監視ソフトウェアがエラー検知を開始します。
もう一度押すと検知を停止します。
- ・エラー検知中 (エラー情報ロギング中) はボタンの L E D が点灯します。

3.2. リアパネルの機能



1. ETHER

- ・ LANインターフェースコネクタです。

2. SDI #1 INPUT

- ・ SDI #1 映像・音声信号入力コネクタです。

3. SDI #2 INPUT

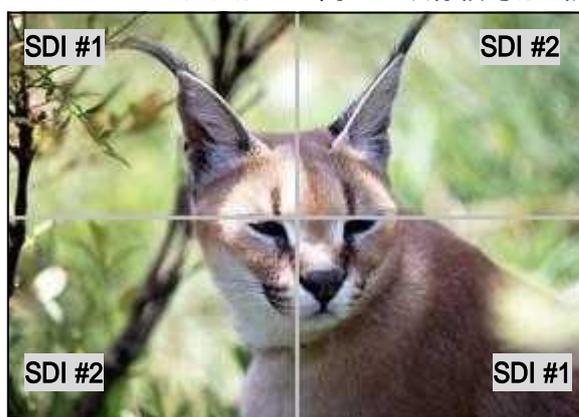
- ・ SDI #2 映像・音声信号入力コネクタです。

4. SDI #1 MONITOR

- ・ SDI #1 映像・音声モニタ出力コネクタです。
- ・ 出力はVBSアナログビデオ信号・アナログアンバランスオーディオです。

5. ADJ. MONITOR

- ・ 映像調整用比較映像モニタ出力コネクタです。
- ・ SDI #1、SDI #2 映像が下図のように合成されて出力されます。
- ・ 出力はVBSアナログビデオ信号です。
- ・ 3つのコネクタからは同一の映像信号が出力されます。



6. SDI #2 MONITOR

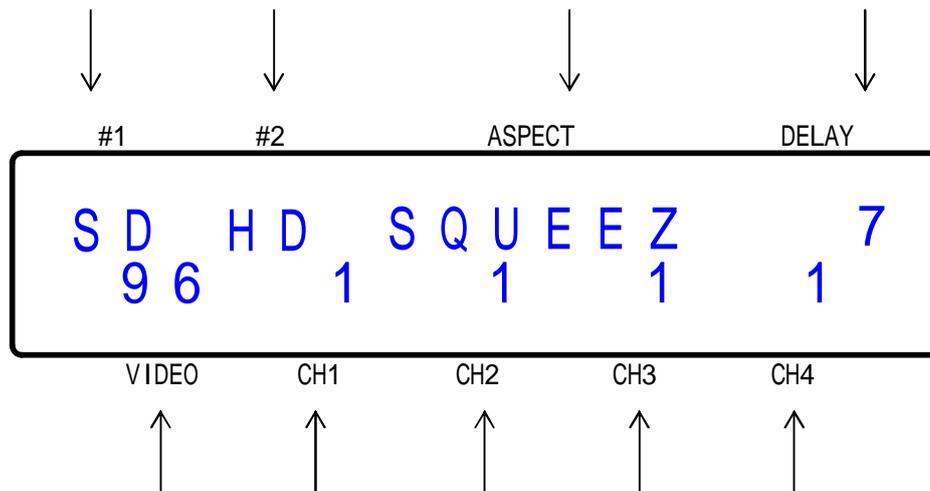
- ・ SDI #2 映像・音声モニタ出力コネクタです。
- ・ 出力はVBSアナログビデオ信号・アナログアンバランスオーディオです。

7. AC INPUT

- ・ AC入力(3P インレット)です。

3.3. VFD の機能

1. 通常状態



1. S D I # 1 I N P U T

・素材側 SDI 信号の状態を表示します。

SDI 信号状態	VFD 表示
HD-SDI 信号を入力	H D
SD-SDI 信号を入力	S D
入力信号なし	N G (点滅表示)

2. S D I # 2 I N P U T

・ダビング側 SDI 信号の状態を表示します。

SDI 信号状態	VFD 表示
HD-SDI 信号を入力	H D
SD-SDI 信号を入力	S D
入力信号なし	N G (点滅表示)

3. A S P E C T

・映像信号の画角設定を表示します。

画角設定	VFD 表示
サイドカット	S I D E
スクイーズ	S Q U E E Z
レターボックス (16 : 9)	L B 1 6 : 9
レターボックス (14 : 9)	L B 1 4 : 9

- 4 . D E L A Y
 - ・映像ディレイ値をフレーム数単位で表示します。
- 5 . V I D E O
 - ・映像比較の不一致ブロック数を表示します。
- 6 . C H 1
 - ・音声比較C H 1 の比較状態を表示します。
- 7 . C H 2
 - ・音声比較C H 2 の比較状態を表示します。
- 8 . C H 3
 - ・音声比較C H 3 の比較状態を表示します。
- 9 . C H 4
 - ・音声比較C H 4 の比較状態を表示します。

2. 本体バージョン / IPアドレス

V	A	D	-	2	0	0	H	D	/	D	x	.	x	x
a	a	a	.	b	b	b	.	c	c	c	.	d	d	d

電源投入時に、本体バージョンとIPアドレスを約10秒間表示します。
(表示終了後に通常状態に移行します)

上段のx . x xの部分には本体バージョンを表示します。

(本体バージョンが1.01の場合、x . x xの部分は「1.01」と表示します)

下段のa a a . b b b . c c c . d d dの部分には、VAD本体のIPアドレスを表示します。

(IPアドレスが192.168.100.101の場合、a a a . b b b . c c c . d d dの部分は「192.168.100.101」と表示します)

本体の起動後は、通常状態時に+ / - / SEL ボタンのいずれかを押す事で

本体バージョン / IPアドレスを約5秒間表示します(表示終了後に通常状態に戻ります)。

3. 調整メニュー

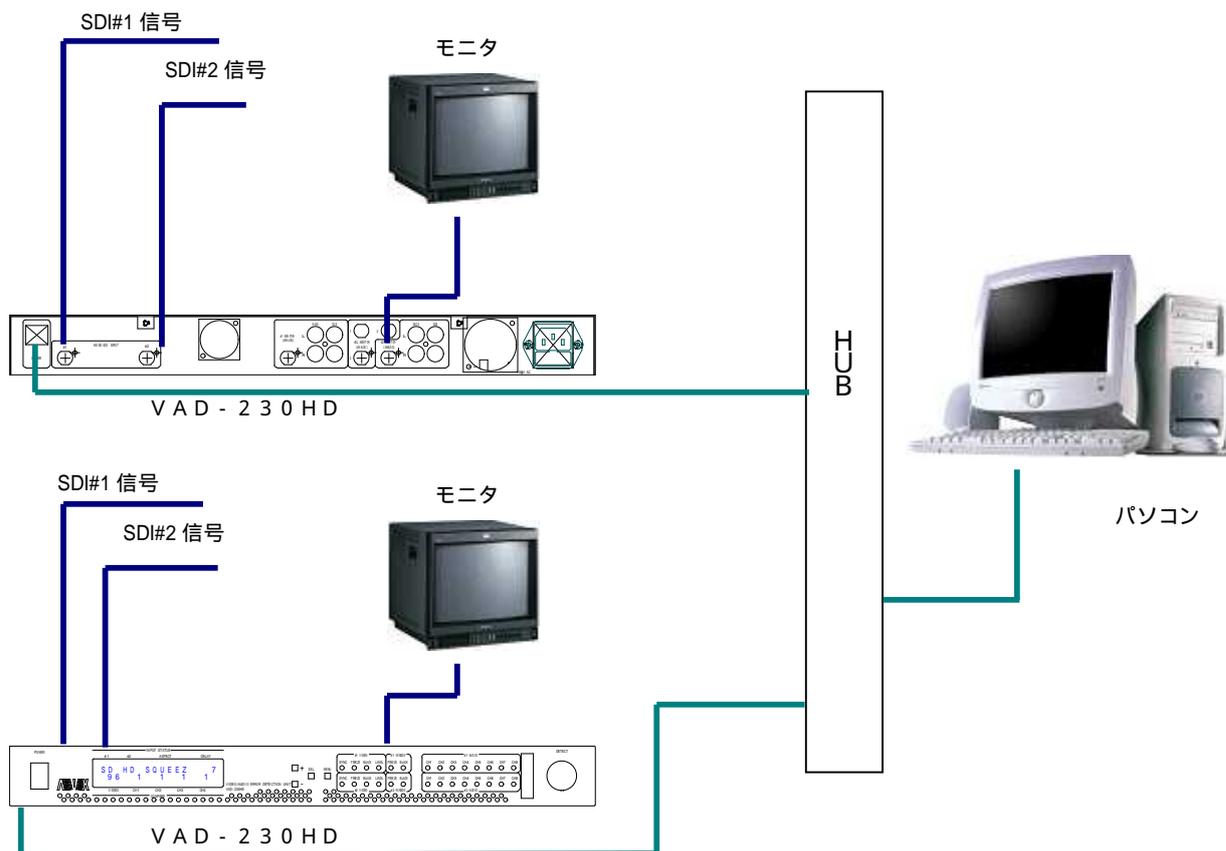
通常状態時にMENUボタンを押す事で、調整メニューが表示されます。

(調整メニュー / 調整方法の詳細は「5. 映像比較位置 / サイズ / 画角調整」を参照)

調整メニュー表示中に何もボタンを押さずに約1分間放置した場合は

自動的に通常状態に戻ります(調整メニュー内での操作内容は全て破棄されます)。

4 . 接続方法



映像比較を行うためには、SDI# 1 INPUT と SDI# 2 INPUT は同一の映像である必要があります。
また、SDI# 1 INPUT と SDI# 2 INPUT の間の遅延時間は、1 ~ 30 フレームである必要があります。

5 . 映像比較位置 / サイズ / 画角調整

S D I # 1 (素材側) 映像と、S D I # 2 (ダビング側) 映像は、A D J U S T M O N I T O R 上での表示位置 / 画面サイズ / 画角設定が異なっていると、正しく映像比較を行うことができません。
したがって、表示位置 / 画面サイズ / 画角設定を調整する必要があります。

1 . 比較画像の確認

V A D に比較対象となる素材側映像とダビング側映像を入力した状態で A D J U S T M O N I T O R 出力にモニタを接続し、映像調整用比較映像を確認します。設定値が既知 (表示位置 / 画面サイズ / 画角の設定値を別機で確認済み) の場合は、V A D への映像入力が全く無い状態でも設定可能です。

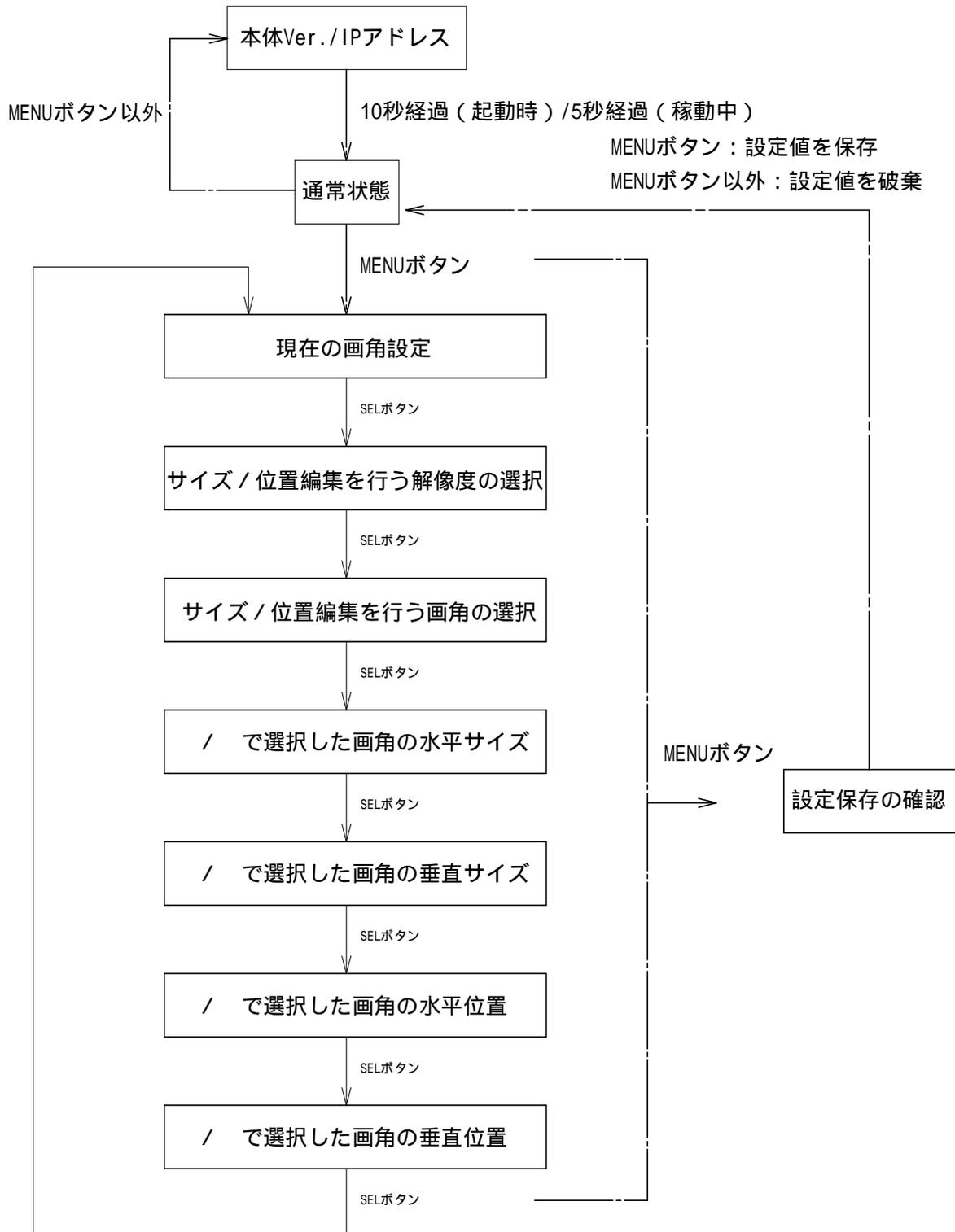
2 . 調整メニューの表示

V F D 表示が通常状態の時に M E N U ボタンを押し、調整メニューを表示します。調整メニュー画面の内容は、下記の規則に従って変化します。

(次ページの画面遷移図の ~ が、調整メニューの画面 ~ 画面 に対応します)

- (1) 通常状態の時に M E N U ボタンを押すと、画面 が最初に表示される。
- (2) 画面 の状態から S E L ボタンを押すたびに画面 画面 画面 ... と表示画面が順に変化し、画面 の状態で更に S E L ボタンを押すと画面 に戻る。
- (3) 画面 ~ 画面 のいずれかの状態で M E N U ボタンを押すと画面 に移行する。
- (4) 画面 ~ 画面 のいずれかの状態で何もボタンを押さずに約 1 分間放置すると、それまでの操作内容を全て破棄して自動的に通常状態に戻る。

画面遷移図)



- ・画面 : 現在の画角設定

C	u	r	r	e	n	t	A	s	p	e	c	t	
							S	i	d	e	c	u	t

素材側映像とダビング側映像のいずれか（または両方）が HD-SDI の場合の画角設定を + ボタンと - ボタンで変更します。

（素材側映像とダビング側映像の双方に SD-SDI 映像が入力されている場合でも、比較画面には反映されませんが設定変更は可能です）

+ ボタンを押す毎に、「SideCut Squeeze LetterBox(16:9) LetterBox(14:9) SideCut...」の順番に画角設定が変化します。

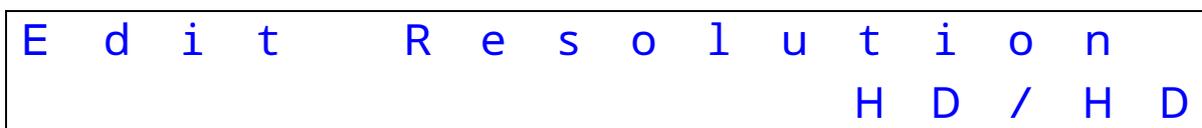
（- ボタンを押した場合は、+ ボタンの逆順で画角設定が変化します）

初期値は SideCut です。

V F D 下段表示	画角設定
SideCut	サイドカット
Squeeze	スクイーズ
LetterBox(16:9)	レターボックス (1 6 : 9)
LetterBox(14:9)	レターボックス (1 4 : 9)

- ・画面 : サイズ / 位置編集を行う入力映像解像度の選択

本画面で SD / SD を選択した状態で SEL ボタンを押すと画面 に移行します。
SD / SD 以外の場合は画面 に移行します。



画面サイズ / 位置設定値の内部データテーブルから、画面 ~ 画面 での編集の対象とする入力映像解像度を選択します。

+ ボタンを押す毎に、「HD/HD HD/SD SD/HD SD/SD HD/HD...」の順番に編集テーブルが変化します。

(- ボタンを押した場合は、+ ボタンの逆順で編集テーブルが変化します)

VFD 下段表示	編集対象とする入力映像解像度
HD/HD	SDI# 1 映像=HD-SDI / SDI# 2 映像=HD-SDI
HD/SD	SDI# 1 映像=HD-SDI / SDI# 2 映像=SD-SDI
SD/HD	SDI# 1 映像=SD-SDI / SDI# 2 映像=HD-SDI
SD/SD	SDI# 1 映像=SD-SDI / SDI# 2 映像=SD-SDI

VAD に素材側映像とダビング側映像を入力した状態で調整メニューを表示し、現時点の入力映像解像度の組み合わせとこの画面で選択したテーブルが一致している場合は、VFD 上段右端に「*」が表示されます。

例えば、素材側映像が HD-SDI、ダビング側映像が SD-SDI の状態で本画面で HD/SD を選択すると、VFD 上段右端に「*」が表示されます。

- ・画面 : サイズ / 位置編集を行う画角テーブルの選択

E d i t	S i z e / P o s
	S i d e c u t

画面サイズ / 位置設定値の内部データテーブルから、画面 ~ 画面 での編集の対象とするテーブルを選択します。

+ ボタンを押す毎に、「SideCut Squeeze LetterBox(16:9) LetterBox(14:9) SideCut...」の順番に編集テーブルが変化します。

(- ボタンを押した場合は、+ ボタンの逆順で編集テーブルが変化します)

VFD下段表示	編集の対象とするテーブル
SideCut	サイドカット
Squeeze	スクイーズ
LetterBox(16:9)	レターボックス (1 6 : 9)
LetterBox(14:9)	レターボックス (1 4 : 9)

VADに素材側映像とダビング側映像を入力した状態で調整メニューを表示し、現時点で比較画面に反映されている画角設定とこの画面で選択したテーブルが一致している場合は、VFD上段右端に「*」が表示されます。

例えば、素材側側映像とダビング側映像のいずれか(または両方)にHD-SDI映像を入力し、画面 の画角設定を Squeeze に設定している時に本画面で Squeeze を選択すると、VFD上段右端に「*」が表示されます。

・画面 : 画面 / 画面 で選択した画角テーブルの水平方向サイズ

画面 で選択したテーブルがSD / SDの場合は、本画面が表示された状態でSELボタンを押すと画面 に移行します。
SD / SD以外の場合は画面 に移行します。

H - S i z e 1 6
--

VFD の下段右端に表示された水平サイズ値を + ボタンと - ボタンで調整します。
 (+ ボタン : 値が増加 / - ボタン : 値が減少)
 設定範囲は 0 ~ 31 で、初期値は 16 (中間値) です。
 値が大きくなるほど、SDI#1 映像の水平サイズが拡大されます。
 画面 / 画面 で選択したテーブルと、現時点で比較画面に反映されている画角設定が全て一致している場合は VFD 上段右端に「 * 」が表示されます。
 VFD 上段右端に「 * 」が表示されている場合は、設定値を変更するとその結果が実際の比較画面に反映されます。
 VFD 上段右端に「 * 」が表示されていない場合は、設定値を変更しても内部データテーブルの値を書き換えるのみで比較画面には影響しません。

・画面 : 画面 / 画面 で選択した画角テーブルの垂直方向サイズ

画面 で選択したテーブルがSD / SDの場合、本画面は表示されません。

V - S i z e 1 6
--

VFD の下段右端に表示された垂直サイズ値を + ボタンと - ボタンで調整します。
 (+ ボタン : 値が増加 / - ボタン : 値が減少)
 設定範囲は 0 ~ 31 で、初期値は 16 (中間値) です。
 値が大きくなるほど、SDI#1 映像の垂直サイズが拡大されます。
 画面 / 画面 で選択したテーブルと、現時点で比較画面に反映されている画角設定が全て一致している場合は VFD 上段右端に「 * 」が表示されます。
 VFD 上段右端に「 * 」が表示されている場合は、設定値を変更するとその結果が実際の比較画面に反映されます。
 VFD 上段右端に「 * 」が表示されていない場合は、設定値を変更しても内部データテーブルの値を書き換えるのみで比較画面には影響しません。

- ・画面 : 画面 / 画面 で選択した画角テーブルの水平位置

H - P o s i t i o n . 1 6

VFD の下段右端に表示された水平位置を + ボタンと - ボタンで調整します。

(+ ボタン : 値が増加 / - ボタン : 値が減少)

設定範囲は 0 ~ 31 で、初期値は 16 (中間値) です。

値が大きくなるほど、SDI#1 映像が右方向に移動します。

画面 / 画面 で選択した画角テーブルと、現時点で比較画面に反映されている画角設定が全て一致している場合は VFD 上段右端に「 * 」が表示されます。

VFD 上段右端に「 * 」が表示されている場合は、設定値を変更すると

その結果が実際の比較画面に反映されます。

VFD 上段右端に「 * 」が表示されていない場合は、設定値を変更しても

内部データテーブルの値を書き換えるのみで比較画面には影響しません。

- ・画面 : 画面 / 画面 で選択した画角テーブルの垂直位置

V - P o s i t i o n . 1 6

VFD の下段右端に表示された垂直位置を + ボタンと - ボタンで調整します。

(+ ボタン : 値が増加 / - ボタン : 値が減少)

設定範囲は 0 ~ 31 で、初期値は 16 (中間値) です。

値が大きくなるほど、SDI#1 映像が上方向に移動します。

画面 / 画面 で選択した画角テーブルと、現時点で比較画面に反映されている画角設定が全て一致している場合は VFD 上段右端に「 * 」が表示されます。

VFD 上段右端に「 * 」が表示されている場合は、設定値を変更すると

その結果が実際の比較画面に反映されます。

VFD 上段右端に「 * 」が表示されていない場合は、設定値を変更しても

内部データテーブルの値を書き換えるのみで比較画面には影響しません。

- ・画面 : 設定保存の確認

S a v e C o n f i g ? . Y : M E N U / N : O t h e r
--

調整メニューで編集した設定値を VAD に保存するかを確認する画面です。

本画面の状態では MENU ボタンを押すと、調整メニューで編集した設定値を

VAD に保存した後に通常状態画面に戻ります (電源を切断しても設定内容は保持されます)。

MENU ボタン以外 (+ / - / SEL ボタンのいずれか) を押した場合は、

調整メニューで編集した設定値を保存せずに全て破棄した後に通常状態画面に戻ります。

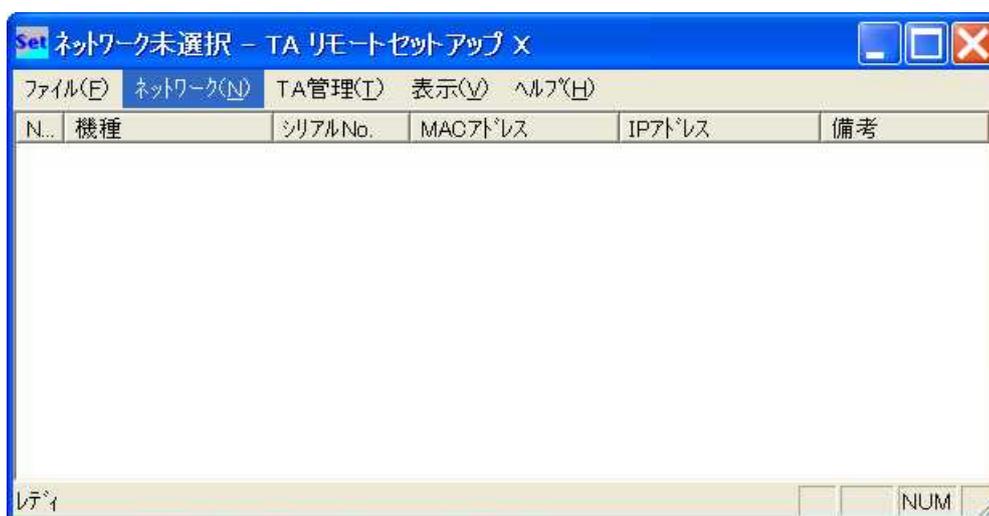
(設定値は調整メニューを表示する前の状態に戻ります)

6 . I P アドレスの設定

6 . 1 . V A D - 2 3 0 H D の I P アドレスの設定

V A D - 2 3 0 H D の I P アドレスは、専用ツール " T A S e t u p X " で変更します。

- 1) V A D - 2 3 0 H D の E T H E R コネクタと Windows PC を LAN 経由で接続し、
V A D - 2 3 0 H D の電源を投入します。(クロスケーブル直結または HUB 経由)
PC の OS が WindowsXP(SP2 以降) / WindowsVista の場合は、
ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。
- 2) Windows PC 上で " T A S e t u p X . e x e " を起動します。



- 3) 初回のみネットワーク名称の登録を行う必要があります。

[ネットワーク]->[新規登録]をクリックします。

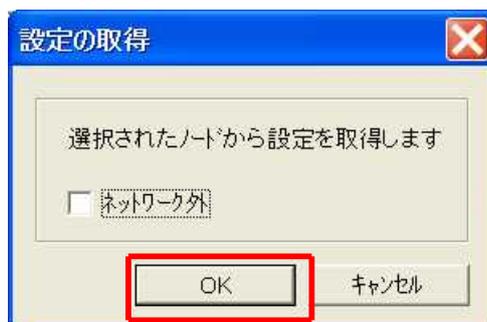


ネットワーク名に任意の半角英数字 (例 : V A D - 2 3 0 H D) を入力し、
[O K] をクリックします。

- 4) [TA 管理]->[その他の検索]->[リフレッシュ検索]をクリックし、接続されている VAD - 230HD を検索します。PC と VAD - 230HD の接続が完了していると、次のように該当する VAD - 230HD の IP アドレスが表示されます。



- 5) 表示された IP アドレスの行をダブルクリックすると、設定の取得画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



6) 設定取得画面が表示されます。

7) [自 IP アドレス] 欄 (上記画面の赤枠部分) の IP アドレスを変更し、
「送信」ボタンをクリックします。

この時、[自 IP アドレス] 以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。

(V A D - 2 3 0 H D が正常に動作しなくなります)

8) I P アドレス設定の変更を行った場合は前出の[リフレッシュ検索]を行い、変更後の
I P アドレスを確認して下さい。

6.2. Trap先IPアドレスの設定

1) 前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

TA-100KR-Xシリーズの設定取得

LAN設定

自IPアドレス: 10.9.10.151 | 通信リカフラグ: 無効

自ポート番号: 257 | 無通信監視タイム: 0

宛先IPアドレス: 2.2.2.2 | ユーザ名:

宛先ポート番号: 514 | パスワード:

サブネットマスク: 255.255.255.0 | ファilterターミネータ:

ゲートウェイアドレス: 2.2.2.2 | オートネゴシエーション: 自動

キープアラフタイム: 0 | MTU値: 1500

コネクタイム: 2

シリアル設定

ボーレート: 9,600bps

データ長: 8ビット

ストップビット: 1ビット

パリティ: なし

フロー制御: なし

コネクション情報通: 無効

コネクション監視: 無効

アイドルタイム: 0

レポートターミネータ: ODOA

システム設定

LANデフォルトプロトコル: FtpSv

RSデフォルトプロトコル: Serial

BOOTP有効フラグ: 無効

DHCP有効フラグ: 無効

起動プログラム名: 設定画面

汎用設定項目: 設定画面

SNMP設定: 設定画面

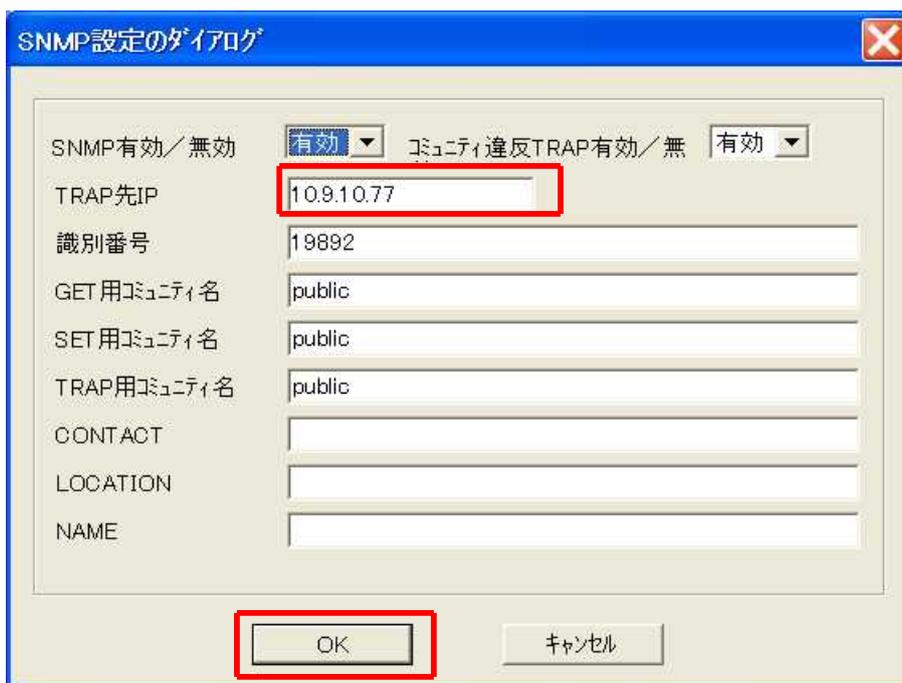
動作モード (取得のみ): 通常動作0

ネットワーク外

送信 戻る

2) 設定取得画面で「SNMP 設定」[設定画面]ボタン (赤枠部分) をクリックします。

3) 「SNMP 設定」 ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



SNMP設定のダイアログ

SNMP有効/無効	<input type="button" value="有効"/>	コミュニティ違反TRAP有効/無	<input type="button" value="有効"/>
TRAP先IP	<input type="text" value="10.9.10.77"/>		
識別番号	<input type="text" value="19892"/>		
GET用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>		
SET用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>		
TRAP用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>		
CONTACT	<input type="text"/>		
LOCATION	<input type="text"/>		
NAME	<input type="text"/>		

4) [TRAP先IPアドレス] (上記画面の赤枠部分) を変更し、[OK]をクリックします。
この時、[TRAP先IPアドレス] 以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。
(VAD - 230HDが正常に動作しなくなります)

5) 設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

6.3. 複数のTrap先IPアドレスの設定

複数のTrap先IPアドレスを設定する場合は、必ず前項で最初の1個目のTrap先を設定して下さい。

前項での設定を行わずに本項目のみ設定を行った場合は正常に動作しません。

1) 前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

TA-100KR-Xシリーズの設定取得

LAN設定

自IPアドレス	10.9.10.151	通信リカフラグ	無効
自ポート番号	257	無通信監視タイム	0
宛先IPアドレス	2.2.2.2	ユーザ名	
宛先ポート番号	514	パスワード	
サブネットマスク	255.255.255.0	フィルタミネータ	
ゲートウェイアドレス	2.2.2.2	オートネゴシエーション	自動
キープアライブタイム	0	MTU値	1500
コネクトタイム	2		

シリアル設定

ボーレート	9,600bps
データ長	8ビット
ストップビット	1ビット
パリティ	なし
フロー制御	なし
コネクション情報通	無効
コネクション監視	無効
アイドルタイム	0
ループバックミネータ	000A

システム設定

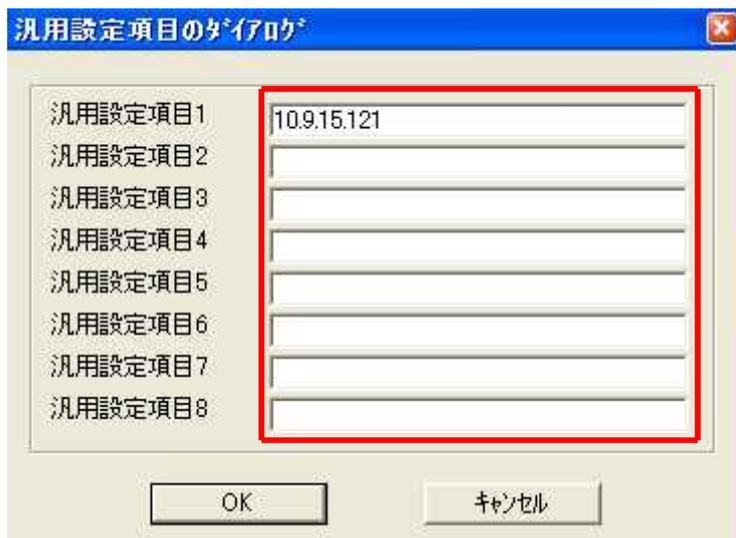
LANデフォルトプロトコル	FtpSv
RSデフォルトプロトコル	Serial
BOOTP有効フラグ	無効
DHCP有効フラグ	無効
起動プログラム名	設定画面
汎用設定項目	設定画面
SNMP設定	設定画面
動作モード (取得のみ)	通常動作0

ネットワーク外

送信 戻る

2) 設定取得画面で「汎用設定項目」[設定画面]ボタン（赤枠部分）をクリックします。

3) 「汎用設定項目」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



4) [汎用設定項目 1 ~ 8] (上記画面の赤枠部分) を変更し、[OK]をクリックします。

Trap先IPアドレスは最大で8箇所まで設定が可能です。

本項目の設定を行う事によって、前項で設定した最初の1個目のTrap先と合わせて計9箇所までTrapを送信可能です。

5) 設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

6.4. IPアドレス / Trap先変更後のVAD再起動

1) VAD本体の電源を一旦切断して再度投入します。

起動時の本体バージョン / IPアドレス画面で、6.1.項で設定した
IPアドレスがVFD下段に表示される事を確認します。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038